

城跡へと続く遊歩道の整備と景観伐採を行った事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：福山市

取組のきっかけ・経緯

・地域から、地元の城跡へ登る遊歩道の修復と遊歩道沿い及び城跡周辺の森林整備を実施し、地域のランドマークとして活用したいとの要望があった。

今後の展開

・地域住民による整備を続け、地域の憩いの場として活用を続ける。

取組の内容

- ・事業主体：広島県東部森林組合
- ・実施場所：福山市本郷町
- ・業務量：森林整備0.7ha
遊歩道整備340m
- ・業務金額2,650千円
- ・実施期間：令和3年10月26日
～令和4年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・整備後は子どもや高齢の方でも登りやすくなり、昔のように地域全体で活用できるようになった。
- ・景観もよくなり、整備前より遊歩道を歩く時間が楽しくなった。

【整備後】



【整備後】

